

1・授業の実際 授業校 千葉市立葛城中学校 指導者 内山 祐貴

(1) 単元名 傷害の防止

(2) 本時の目標

- ・ 傷害の防止について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとすることができるようにする。(関心・意欲・態度)
- ・ 傷害の防止について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表すことができるようにする。(思考・判断)
- ・ 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因やそれらによる傷害の防止、応急手当について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活との関わりを理解することができるようにする。(知識・理解)

(3) 本時の展開

過程	時配	学習内容と活動	指導や支援の手だて
はじめ	8分	1 集合整列出欠の確認、挨拶をする 2 心肺停止に関わる動画を見て心肺停止が身近に起こりうることを理解する	・ 生徒の健康状態を把握し、欠席者を確認する。 ・ 心肺停止を身近に感じさせ、本時の学習に意欲的に取り組ませる。
なか①	20分	3 本時の学習内容を確認する その場に適した応急手当の手順を考えてみよう ① 各自でどんな行動をとるか考え、付せんに書き出す ② ホワイトボードに付せんを貼りながら一連の正しい行動をグループで話し合わせる	・ 学習課題を提示して確認させる ・ なかなか書けない生徒には前回の授業内容を思い出させ、習った事をうまくつなぎ合わせるように助言する。 ・ なぜその手順になったのか理由も述べさせる ・ 胸骨圧迫と人工呼吸の正しい順番とその根拠も気付かせる
なか②	15分	4 傷病者発見から応急手当までの心肺蘇生法の模範演技を見て手順を知る 5 AEDを用いた心肺蘇生法の実習を行う 6 応急手当の意義や目的にの説明をする ① 呼吸停止後の人工呼吸開始時間と蘇生率の関係を知る。 ② 意義や目的を知る	・ 手順とその順番となる根拠を説明する ・ AEDの役割と必要性について確認させる ・ 心肺蘇生は心肺停止後1秒でも早く行うことが重要であることを理解させる ・ 適切な応急手当によって命を助けることができることを伝える
終わり	7分	7 整列・学習ノート記入する 8 次時の内容を確認する 9 挨拶	・ 評価反省させる ・ 各グループ1名程度に発表させる

2・成果と課題

- ①ブレインストーミングを活用することで、②AEDトレーナー及び心肺蘇生訓練機を用いた授業を実施することにより、確実な理解を深め、自ら学び考える力を高めることができた。